

Marching Press TOHOKU



2024. 3. 29 No. 34 TMBA事務局発行 〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町13-7 三浦ビル1F

TEL:0187(86)0560 FAX:0187(86)0561 E-mail:ajmbta@obako.or.jp http://jmba-tohoku.org/



東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟
副会長(日本マーチングバンド協会東北支部副会長)

小野寺 新

今年度も、加盟団体をはじめ、多くの皆様のご協力とご支援のおかげで、計画されていた事業を予定どおりに実施することができましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、第52回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会と第27回マーチング&バトンオンステージ東北大会も、ほぼ従来どおりの規模で開催することができました。また、コロナ禍で落ち込んだ参加団体数や観客数も増加傾向を示しています。

大会では各団体がそれぞれの特徴を發揮し、見事なパフォーマンスを披露してくれました。人数、編成、練習時間など、団体ごとに環境は異なりますが、それぞれの持ち味を生かしたショーが展開されていたことに深く感動しました。

現在、少子化もあり、全国的に小編成の団体が増えています。東北においても例外ではありません。人数が少ないことはマイナスと考えがちですが、2つの大会ではそのことをプラスに変えている団体が多かったことに驚きました。個人的な感想になりますが、印象的だった小編成の団体の特徴として「アレンジが魅力的なこと」「動きが精密なこと」「視覚的なインパクトがあること」「観客とのコミュニケーションがあること」「ストーリー性があること」「アットホームな雰囲気があること」といったことが挙げられます。どの特徴も人数の少なさをプラスに変える要素を持っています。改めて東北の力を感しました。

当連盟の事業にも解決すべき課題が数多くありますが、小編成の団体の例のようにマイナスをプラスに変える発想も取り入れつつ、加盟団体の皆様のお力を借りながら、東北のマーチング・バトントワーリングの発展のために様々な視点から考えていきたいと思っております。今後ともよろしく願います。



東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟
副会長(日本バトン協会東北支部会長)

奥山 達也

「人口減少に思う」

日本の出生数が激減している。全日本MB連盟が誕生した1979年は年間164万人を超える出生数だったが、2023年は72万人に減少した。中でも東北は人口減少ベストテンに5県が名を連ねる。また、これに呼応するかのようになり1団体あたりの構成員数も減少している。2018年度開催の第45回東北大会は3015人の構成員の参加があったが、翌年から減少を続け2023年度は1765人と半減した。参加団体数がほとんど変わらない中での数字である。

一方、構成員が減少しても30m×30mのエリアサイズは変わらない。少人数の団体は、例えば高い演奏技術と演技力、高い構成力と演出力をもってしても、ショーとして昇華させる事は至難の業である。バトントワーリングも同様である。東北大会は構成員が3名いればエントリーできる。バレーボールコート6面分のエリアにである。

オンステージ東北大会が始まった当時、ステージの全国大会は無かった。オンステージ東北大会は、東北の諸先輩が東北の加盟団体の発表の場として始めた事業である。そして、東北から遅れること4年、全日本MB連盟が主催するマーチング・バトンオンステージ全国大会が始まり、変遷を重ねながら現在に至っている。当時、東北は間違いなく全国を牽引していた。

30m×30mの演技エリアでは練習場所確保に困難を伴うし披露する場も限られる。また、構成員が100人を超える団体と、10人にも満たない団体の表現の場が同じサイズで良いはずがない。

私はこの人口減少を、演技エリアサイズの考え方も含め、日本のマーチングとバトンが次のステップに進む絶好のチャンスだと思っている。まずは東北から始める。地方が動かなければ中央は動かない。東北の若い叡智を結集しアイデアを出し合って東北が先駆者となればよい。応援も含め、感動に満ちた魅力溢れるイベントに深化させ全国に発信し、新たな発想での全国大会を牽引すればよい。併せて、バトンも含めたステージでの競技化、ブランド化、全国化を推し進め、構成員の極めて少ない団体にも、クオリティの高い表現の場を提供すべきである。

21世紀の人口減少は日本全体の問題であるが、その縮図が東北である。だから発信力を持っている。再び東北の番である。諸葛孔明が弟子に説いた言葉「座して死を待つよりは、出て活路を見出さん」の心境である。

青森県マーチングバンド連盟

会長 吉田 絹 恵
 理事長 石井 一二三
 事務局長 山田 博 規
 ◆事務局
 〒031-0001
 青森県八戸市類家一丁目1-11
 千葉学園高等学校内
 TEL 0178-43-4321
 FAX 0178-43-8898

ダンス講習会及びマーチング技能検定講習会は4年ぶりに実施することができました。今まで中止としていたために、技能検定講習会では、一人も検定級を持たない児童・生徒だけとなり、4級からのスタートになってしまいました。しかし、通常の講習会が実施できたことはこれからのマーチング活動にとって大変意義深いものであったと思います。

また、第46回マーチングバンド・バトントワーリング青森県大会は、9月に八戸市体育館で通常通りに開催できました。その中で今年度初めて協会に加盟登録したマーチングの団体が、東北大会でも素晴らしい演技・演奏をするなど、その活躍には驚かされるほどでした。そして、青森県からマーチングバンド全国大会に1団体、オンステージ全国大会に1団体、バトントワーリング全国大会に3団体が出場することができました。

県の組織としては、マーチングバンド15団体、カラーガード1団体、バトントワーリング7団体の計23団体となり、昨年度より2団体増えたことは大きな成果でした。今後も仲間と共に切磋琢磨し、参加団体も増やしていければと思います。

事務局長 山田 博 規

岩手県マーチングバンド協会

会長 根 反 正 樹
 理事長 永 田 亮 彦
 事務局長 熊 谷 和 彦
 ◆事務局
 〒024-0029
 岩手県北上市新穀町二丁目4番64号
 TEL 0197-63-2341
 FAX 0197-63-7458

思い通りにいかない数年間を乗り越え、岩手県マーチングバンド協会でもこれまでの活動を取り戻し、持続可能な活動を目指して模索する1年となりました。講習会事業では技術講習会を実施し、MMおよびCGの講師の先生をお呼びし、小学生から一般までと一緒に技術講習を受講しました。小学生たちは高校生や一般の動きを一生懸命見て、実践する姿がありました。高校生や一般の皆さんは、小学生の手本になるだけでなく、手取り足取りで助言する姿がありました。コロナ禍は「他チームとの横のつながり」や「年齢を超えた縦のつながり」が失われてしまった期間でした。今年度の講習会事業を通して、以前のような「繋がり」を取り戻し始めることができたことに満足せず、次年度も講習会事業を展開していきます。大会事業では、岩手県マーチング・バトンフェスティバルをコロナ禍以前と同様の形で開催いたしました。春に会った仲間たちがどのような演奏演技を作ってきたのか興味をもち、刺激を受けることで次への励みとなったと思います。開催にあたりご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

岩手県ではコロナ禍以降、部活動改革に伴う地域移行化や働き方改革も相まってマーチングの活動は縮小されていく傾向にあります。今後はそれぞれのチームが持続可能な活動となるよう事業を充実させていきます。今後ともご協力よろしくお願いたします。

事務局長 熊 谷 和 彦



岩手県バトン協会

理事長 小野寺 美 樹
 事務局長 小野寺 美 樹
 ◆事務局
 〒020-0816
 岩手県盛岡市中野二丁目10番6号
 TEL 080-3144-4440

今年度は岩手県から「IBTF 世界バトントワーリング選手権大会」に日本代表として1名が選出されたことを受けて県全体での壮行会を開催しました。その中で選手への応援演技として各団体からバトンやダンスなど、チームの個性あふれる素敵な演技を発表していただきました。このような交流であらためてバトンの楽しさや仲間とパフォーマンスする喜びを味わうことができたのではないかと感じました。また「マーチング・バトンフェスティバル岩手県大会」では昨年より多くの観客の皆様にお越しいただき、出場された皆さんの素晴らしい演奏演技に観客の皆様からの盛大な拍手をもって無事に開催することができました。どの事業も多くの方々のご理解・ご協力を賜り、協会の普及と発展につながる活動として終えましたことに感謝いたします。次年度も協会全体でさまざまな活動で盛り上げていけるようにしていきたいと思っております。

理事長 小野寺 美樹

宮城県マーチングバンド連盟

会長 相 澤 榮
 理事長 相 沢 茂 紀
 事務局長 福 井 愛 未
 ◆事務局
 〒981-3341
 宮城県富谷市成田三丁目1番1号
 TEL 022-351-7567
 FAX 022-351-7569

2023年度、新型コロナウイルスの感染症の位置付が2類から5類に変更されたこともあり、お陰様で宮城県連盟ではコロナ禍前と同じぐらいの規模で、県大会を開催することができました。しかしながら、少子化や学校の働き方改革に伴う部活動の制限など、活動の縮小は喫緊の課題となっています。これまで通りの活動継続が難しい中ではありますが、私達はこれからも魅力ある県大会・宮城県連盟の構築に邁進して参ります。

さて、昨年9月の県大会では、オープンエントリーの部を新設し、宮城県以外や未加盟の団体にもグランディでの演技機会を提供することができました。また、昨年度に引き続き、マーチング・バトン共に特別講師によるワークショップを開催しました。2024年度も開催予定のこの事業は、日本は元より世界を舞台に活躍してきた豪華講師陣による、マーチングやバトンが大好きなメンバー達へ向けた講習会です。今後も宮城県以外の皆様にもご参加頂けますよう、県大会もワークショップも、さらには上級・中級の技能検定講習会を計画中です。是非ご参加ください！東北各県の皆様、宮城でお待ちしております！！

笑顔あふれる楽しいマーチング&バトントワーリングを目指して、ともに歩んで参りましょう！！よろしくお願致します。

事務局長 福井愛未

秋田県マーチングバンド協会 パトントワーリング

会長 加賀谷 和 宏
理事長 田 村 裕 三
事務局長 寺 山 啓 太
◆事務局

〒017-0012
秋田県大館市釈迦内字長者森1番地
大館市立北陽中学校内
TEL 0186-48-2935
FAX 0186-48-3777

今年度の主な事業は、マーチング講習会、秋田マーチングフェスティバル、秋田マーチング&バトン show であった。マーチング講習会は、4年ぶりに実施した。この間、マーチングを取り巻く環境のみならず、様々な状況が変化した。出演団体数の減少に加え、団体構成メンバーの減少も著しい。また、ほとんどの小中学生は、技能検定や講習会を受講したことがない。そこで、本協会の事業部を中心に、指導者や受講者に事前にアンケートを取り、講習会の在り方を模索した。講習会では小学生と中学生の日程を分け、それぞれのレベルに合わせて講師の先生からきめ細やかに指導していただいた。来年度も今年度の成果と課題を踏まえ、継続していきたい。

秋田マーチングフェスティバルは、秋田県吹奏楽連盟との共催である。例年、会場を分けて2日日程で行ってきた。ここ数年、吹奏楽連盟の出場団体が少ないため、来年度からは1日開催とする予定である。大会事業をスリム化することで、講習会等の事業を充実させたいと考えている。秋田マーチング&バトン show は、県内の団体が中心の発表の場となり、たくさんの方々にお越しいただいた。吹連、マーチング協会、バトン協会のそれぞれの所属団体が一堂に会し、開催しているこの事業は、秋田県ならではの矜持であると考えている。コロナ禍を経て、様々なものが淘汰された現代社会。東北全体、そして秋田県もこれからを見据えた事業やシステムを再構築していかなければならないと痛感している。

事務局長 寺山 啓太

山形県マーチングバンド連盟 パトントワーリング

会長 堀 米 和 志
理事長 原 田 淳
事務局長 安 達 かほる
◆事務局

〒991-0041
山形県寒河江市大字寒河江字鷹ノ巣7
TEL 0237-85-1885
FAX 0237-85-1885

コロナ禍から少しずつ日常を取り戻し始めた2023年は、県内外で団体同士の交流も増えてきた1年でした。県協会としては数年ぶりにMM4級の技能検定講習会を開催することができました。MPとCGにおいても、県内の一般バンドのメンバーが中心となって基礎から応用のテクニックを学べる内容で講習会を開催いたしました。県内の小学生にとっても、久しぶりに他校のマーチング仲間と関わり合う機会になったのではないかと思います。

コロナ禍の2022年度の県大会は各団体入れ替え制の演奏演技となりましたが、2023年度は出演者席を設けて他団体の鑑賞ができるようにしました。コロナ禍でのマーチング・バトンの活動が多かった小・中学生にとって、他団体のショーを見る機会は本当に少なかったのではないのでしょうか。

2024年度は、同じ県内で活動する仲間同士の交流が深められる機会を作ることを目標にしています。また、県外や関係業界の情報もしっかりと活かしながら、山形県のマーチング・バトンの普及発展を目指します。

事務局長 安達かほる

福島県マーチングバンド協会

会長 下山田 祐 司
理事長 宮 内 淳
事務局長 菅 原 央
◆事務局

〒976-0041
福島県相馬市西山字水沢3-12
TEL 080-3339-1778
FAX 0244-35-0260

コロナの影響で中止していた「福島県マーチングスプリングキャンプ」を「福島県マーチングキャンプキャラバン」として地区ごとに少人数で行う形で開催しました。参加したみなさんは、MMの基本を学ぶだけでなく、他団体メンバーとの交流を通して、自団体だけの練習では得られないマーチングの楽しさを感じることができたようです。

また、「福島県マーチング支援事業」として、今年度から保護者が中心となって運営することになったバンドに公認指導員を派遣し、練習の仕方や楽曲の選曲に関するアドバイス等を行いました。

9月に行われた「第41回福島県マーチングフェスティバル」には、幼保の部から一般の部まで16団体が出演し、個性溢れるすばらしい演奏演技を披露しました。第51回マーチングバンド全国大会、第22回マーチングステージ全国大会へは、合わせて5団体が出場し、優秀な成績を収めることができました。本県団体の団員・指導者の皆様のごこれまでのご努力に心より敬意を表します。

2024年度は、「福島県マーチングキャンプキャラバン」(4月・5月)と、「福島県マーチング技能検定(MM3級・4級)」(6月)、「第42回福島県マーチングフェスティバル」(9月)の開催を予定し、現在準備を進めています。これからも、各団体の皆様にとって有意義かつ魅力ある事業を開催してまいります。

事務局長 菅原 央

2024年度
東北M&B連盟事業
(予定)

第53回マーチングバンド・パトントワーリング東北大会

会場:グランディ21 セキスイハイムスーパーアリーナ

1日目:2024年11月2日(土) M小学生の部・M中学生の部・フェスティバルの部
2日目:2024年11月3日(日) M高等学校の部・M一般の部・B全カテゴリー

第50回全日本パトントワーリング選手権東北支部大会

第6回全日本パトントワーリングジュニア選手権東北支部大会

2025年1月18日(土)~19日(日)

会場:仙台市泉体育館

第28回マーチング&バトン オンステージ 東北大会

2025年1月26日(日)

会場:仙台サンプラザホール